

YA21512

年度	配当	区分	科目名	担当教員	回数	単位
2021	前期	基本	監査論	嶋矢剛	15	2

## 授業の目的

現代の市場経済は企業に対し、公認会計士又は監査法人によって監査された財務内容の開示を求めている。LEC 会計大学院の目的にある「経済のグローバル化・情報化に即して」との関連でいうと、企業が大規模化・グローバル化する中で、財務諸表監査が市場経済を支える役割の重要性が増していると考えられる。そこで本講義では、監査の目的から機能、我が国における監査制度、監査基準の構成、監査実施のプロセスについて学習していく。

## 授業の到達目標

監査の制度的枠組みや監査実施上の基本的な考え方・技術・意見形成の過程を理解することにより、監査理論の基礎を習得すること、および会計監査を取り巻く利害関係者等の事情を理解することを授業の到達目標とする。

## 履修条件

なし

## 授業計画

回	授業内容	日程
1	会計監査とその基本的役割 監査という用語は様々な場面で使われているが、本講義で取り扱う監査について、会計監査の目的、会計監査と財務諸表の虚偽表示との関係、会計監査の機能的限界、会計監査と粉飾の発見という観点から学習する。	4月5日(月) ⑤19:30-21:00
2	会計監査の現代的機能 会計監査の現代的機能について、監査の効用と必要性（情報の信頼性と監査のコスト）、資本市場（資金調達）と会計監査、コーポレート・ガバナンス（企業統治）への貢献と協力という観点から学習する。	4月12日(月) ⑤19:30-21:00
3	金融商品取引法に基づく会計監査制度 金融商品取引法に基づく会計監査制度について、金融商品取引法の役割（企業内容開示制度と会計監査制度）、監査の主体（監査人としての公認会計士および監査法人）、監査人の責任という観点から学習する。	4月19日(月) ⑤19:30-21:00
4	会社法に基づく会計監査制度 会社法に基づく会計監査制度について、監査役による監査と独立の職業会計人による監査の関係、会計監査制度の展開、会計監査人の選解任・報酬の決定・資格要件・権限という観点から学習する。	4月26日(月) ⑤19:30-21:00
5	職業監査と監査基準ならびに職業倫理 会計監査という職業の特殊性、職業的専門家の要件、監査基準の構成、一般基準（監査人の人的資質と要件、監査実施上の基本的な姿勢等）、品質管理基準、倫理規則の概要について学習する。	5月10日(月) ⑤19:30-21:00
6	会計監査の進め方（1） 現代の会計監査の進め方としてのリスク・アプローチについて、リスク・アプローチの基本的な考え方、監査リスク・モデル、事業上のリスクを考慮したリスク・アプローチへの改良という観点から学習する。	5月17日(月) ⑤19:30-21:00
7	会計監査の進め方（2） 監査計画の策定について、会計監査の実施プロセスとの関係、監査契約、全体的監査計画の作成、監査上の重要性の考え方、監査要点への細分化と監査証拠の統合化、試査の意味と手順という観点から学習する。	5月24日(月) ⑤19:30-21:00
8	会計監査の進め方（3） リスク評価と監査手続について、固有リスクの要因と評価、内部統制と統制リスクの評価、取引の実証手続の実施、勘定残高の実証手続の実施、監査手続の実施による入手した証拠の評価という観点から学習する。	5月31日(月) ⑤19:30-21:00

9	会計監査の進め方（4） 現代の会計監査における個別的な問題として、他の監査人の監査結果の利用と連結財務諸表の監査、継続企業の前提に関わる監査、監査調書の査閲と品質管理、監査意見表明のための審査について学習する。	6月7日(月) ⑤19:30-21:00
10	会計監査と不正への対応 繰り返される会計監査と不正への対応について、不正と監査基準、不正に対する監査計画と監査の実施、不正リスク対応基準の背景と性格、不正リスク対応基準の内容という観点から学習する。	6月14日(月) ⑤19:30-21:00
11	監査意見と監査報告書 会計監査の結論としての監査意見について、監査報告書の構成（標準的記載事項、金融商品取引法監査および会社法監査の文例）、監査報告書の役割（情報提供機能の拡大）という観点から学習する。	6月21日(月) ⑤19:30-21:00
12	監査意見の種類と諸問題 監査意見の種類、監査の実施に関わる制約事項と監査意見の関係、財務諸表中に監査人が発見した不適正事項と監査意見の関係、継続企業の前提と監査意見、追記情報について学習する。	6月28日(月) ⑤19:30-21:00
13	四半期レビュー 四半期レビューの目的、四半期レビューと年度監査の関係、四半期レビュー手続、四半期レビューにおける結論（消極的結論）と報告、監査人の結論の種類（無限定の結論、限定付結論、否定的結論、結論の不表明）について学習する。	7月5日(月) ⑤19:30-21:00
14	内部統制監査 内部統制監査制度の成立の背景、内部統制の基本的枠組み、経営者が行う内部統制の構築・評価、経営者が作成する内部統制報告書、内部統制監査の内容（目的、手順、内部統制監査報告書）について学習する。	7月12日(月) ⑤19:30-21:00
15	特別目的の財務諸表の監査 特定のニーズを満たすべく特別の利用目的のために作成された財務諸表（特別目的の財務諸表）の信頼性の確保について、適正性意見・準拠性意見の関係、監査の実施、監査報告という観点から学習する。	7月19日(月) ⑤19:30-21:00
試験	期末試験	7月26日(月) ⑤19:30-21:00

## 使用教科書／評価方法等

教科書	・『監査論テキスト（第7版）』山浦久司著 中央経済社 2019年
参考書	・講義において配布する資料
評価方法	期末テスト60%、出席を含む授業への貢献度など40%
その他	授業の内容は進捗状況などに応じて変わることがある。